2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月５日

上 場 会 社 名	株式会社ランシステム	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3326	URL	https://www.runsystem.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	日高　大輔
問合せ先責任者	（役職名） 常務取締役	（氏名）	面高　英雄　　TEL　045-594-6411
半期報告書提出予定日	2026年11月６日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	2,287	△32.0	32	△67.8	7	△91.5	△18	―
2026年３月期中間期	3,363	1.2	99	54.7	86	41.9	27	19.6

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△18百万円（　―%）　2026年３月期中間期　27百万円（　19.6%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△4.39	―
2026年３月期中間期	6.46	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	4,008	302	7.6	71.28
2026年３月期	4,177	321	7.7	75.67

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　302百万円　2026年３月期　321百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	△11.6	180	3.5	130	21.9	110	8.1	25.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	4,380,900株	2026年３月期	4,380,900株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	130,490株	2026年３月期	130,490株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	4,250,410株	2026年３月期中間期	4,250,410株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（中間連結損益計算書） …… 6
（中間連結包括利益計算書） …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、物価上昇や不安定な国際情勢など、先行き不透明な状況が続いておりますが、個人の消費回復やインバウンド需要の高まりによって経済環境は緩やかな回復基調が続いております。サービス業・アミューズメント業界においても、物価高や光熱費等のコスト上昇の影響はあるものの、人流回復に伴う緩やかな回復基調が継続しております。

このような経営環境のもと、当社グループは「基本の徹底」「コスト最適化」「チームの再構築・人財強化」に注力し、既存の主力事業であるエンターテインメント事業ではサービス業としての基本である「清掃・接客」を軸に、安心安全健全な運営を継続していくことに加え、顧客満足度向上のための店舗改装、お客様目線での店舗別サービス提供を現場スタッフ主導で進めているほか、システム事業におけるチームの再構築、人財強化を行い、新規取引先を拡大していくための新規商材開発・営業強化等に努めて参りました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高2,287百万円（前年同期比32.0％減）、営業利益32百万円（前年同期比67.8％減）、経常利益７百万円（前年同期比91.5％減）、親会社株主に帰属する中間純損失18百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益27百万円）となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

＜エンターテインメント事業＞

当事業につきましては、当社及び当社子会社の株式会社ランセカンドによる複合カフェ「スペースクリエイト自遊空間」チェーン直営店舗の運営をメインとし、安心安全健全な運営を行っております。店内設備においては、お客様のニーズの高いコンテンツの積極的な導入を進めております。また、自遊空間のフランチャイズ店舗のサポート業務も行っております。その他、自遊空間店舗で利用している商材の外部への販売や店舗を利用した広告掲出、社員研修・スタッフ研修の外部への販売、バーチャル関連の新規事業開発を進めております。また、完全セルフ型オンラインダーツ店舗「Smart Darts」の出店を加速するとともに、直営店舗を支援するサポートセンターでは、遠隔接客BPOを核とした新たな収益基盤の確立に取り組んでおります。

以上の結果、当中間連結会計期間末時点では、グループ店舗数83店舗(直営店舗37、FC加盟店舗46)となり、当セグメント全体の売上高は1,553百万円(前年同期比0.6％減)、セグメント利益は140百万円(前年同期比2.2％減)となりました。

＜システム事業＞

当事業につきましては、注目度の高いセルフ化システムやテレワーク環境を支援するシステムなどの各種システムの販売及び保守、管理業務を行っているほか、顔認証システムやAIなどの先端技術を活用した新規商材の開発や新規顧客開拓に加えて、「パートナー企業制度（SIPP）」を活用し、販売チャネルの拡充と相互成長が可能なチームづくりを進めております。また、当社の親会社であるAOKIホールディングスのグループ会社が展開する店舗へのセルフ化システム、PC関連部材等の導入を進めております。

当中間連結会計期間においては、システム商材の改善・開発及びSIPPの構築に注力し、他企業への導入を加速するための準備を進めてまいりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は692百万円(前年同期比60.6％減)、セグメント利益は45百万円(前年同期比60.8％減)となりました。

＜不動産事業＞

当事業につきましては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、おおむね計画通りの売上推移となりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は42百万円（前年同期比0.2％減）、セグメント利益は20百万円（前年同期比23.8％減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は1,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円減少しました。これは主に商品及び製品が26百万円増加した一方、現金及び預金が171百万円、売掛金が85百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は2,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円増加しました。これは主に建設仮勘定が25百万円減少した一方、建物及び構築物(純額)が43百万円、車両運搬具及び工具器具備品(純額)が24百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は4,008百万円となり、前連結会計年度末に比べ168百万円減少しました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は1,681百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円減少しました。これは主に資産除去債務が13百万円増加した一方、買掛金が73百万円、１年内返済予定の長期借入金が24百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は2,023百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円減少しました。これは主に、長期借入金が35百万円、リース負債が24百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は3,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ149百万円減少しました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は302百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失18百万円の計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、7.6%(前連結会計年度末は7.7%)となりました。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、710百万円となり、前連結会計年度末と比較して171百万円減少しました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は130百万円(前年同期は173百万円の収入)となりました。これは主に、仕入債務の減少額73百万円等により資金が減少した一方、減価償却費142百万円、売上債権の減少額85百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は172百万円(前年同期は197百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出140百万円、無形固定資産の取得による支出30百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は129百万円(前年同期は57百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入れによる収入1,000百万円、長期借入れによる収入50百万円により資金が増加した一方、短期借入金の返済による支出1,000百万円、長期借入金の返済による支出110百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、今後の出店計画や店舗売上高に与える影響や開発中の新製品及びサービスの運用時期の変動などの不確定要因があるため、現時点においては前回予想通りとし、修正は行っておりません。なお、数値が確定した結果、適時開示基準に該当した場合には速やかにお知らせいたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	881,259	710,012
売掛金	407,900	322,767
商品及び製品	186,865	213,506
原材料及び貯蔵品	13,451	15,341
その他	118,578	127,946
貸倒引当金	△4,221	△4,164
流動資産合計	1,603,834	1,385,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,179,136	1,222,369
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	110,778	135,719
リース資産（純額）	276,871	261,712
土地	364,014	364,014
建設仮勘定	32,912	7,744
有形固定資産合計	1,963,712	1,991,561
無形固定資産		
のれん	8,156	7,233
ソフトウエア	92,453	99,472
ソフトウエア仮勘定	14,668	24,395
無形固定資産合計	115,279	131,101
投資その他の資産		
長期貸付金	2,028	1,793
敷金	445,981	448,147
繰延税金資産	310	―
その他	57,910	62,060
貸倒引当金	△11,815	△11,296
投資その他の資産合計	494,415	500,704
固定資産合計	2,573,407	2,623,366
資産合計	4,177,242	4,008,775

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,879	163,218
短期借入金	1,000,000	1,000,000
１年内返済予定の長期借入金	191,040	166,092
リース債務	94,078	102,013
未払法人税等	7,223	3,704
賞与引当金	37,850	31,550
資産除去債務	1,500	15,007
その他	183,590	200,336
流動負債合計	1,752,161	1,681,922
固定負債		
長期借入金	1,393,959	1,358,387
リース債務	221,129	196,879
長期未払金	50,264	31,523
資産除去債務	302,900	305,473
繰延税金負債	14,674	12,103
その他	120,508	119,508
固定負債合計	2,103,435	2,023,874
負債合計	3,855,597	3,705,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	236,430	236,430
利益剰余金	77,841	59,174
自己株式	△92,627	△92,627
株主資本合計	321,645	302,978
純資産合計	321,645	302,978
負債純資産合計	4,177,242	4,008,775

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	3,363,355	2,287,912
売上原価	2,781,297	1,713,837
売上総利益	582,057	574,075
販売費及び一般管理費	482,311	541,943
営業利益	99,745	32,131
営業外収益		
受取利息及び配当金	783	1,158
販売手数料収入	1,415	1,065
物品売却益	1,273	1,243
受取保険金	1,045	365
貸倒引当金戻入額	2,472	519
その他	1,206	2,911
営業外収益合計	8,196	7,264
営業外費用		
支払利息	21,847	31,971
その他	28	75
営業外費用合計	21,875	32,046
経常利益	86,067	7,348
特別利益		
固定資産売却益	9	―
特別利益合計	9	―
特別損失		
固定資産除却損	193	226
店舗閉鎖損失	12,199	11,866
減損損失	47,250	11,547
災害損失	―	753
特別損失合計	59,643	24,394
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	26,432	△17,045
法人税、住民税及び事業税	3,649	3,881
法人税等調整額	△4,661	△2,259
法人税等合計	△1,012	1,621
中間純利益又は中間純損失（△）	27,445	△18,667
非支配株主に帰属する中間純利益	―	―
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	27,445	△18,667

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年４月１日 至 2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年４月１日 至 2026年９月30日)
中間純利益又は中間純損失（△）	27,445	△18,667
中間包括利益	27,445	△18,667
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	27,445	△18,667
非支配株主に係る中間包括利益	―	―

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	26,432	△17,045
減価償却費	114,847	142,780
減損損失	47,250	11,547
のれん償却額	―	923
固定資産売却損益（△は益）	△9	―
固定資産除却損	193	226
賞与引当金の増減額（△は減少）	16,302	△6,300
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,620	△575
受取利息及び受取配当金	△783	△1,158
支払利息	21,847	31,971
店舗閉鎖損失	12,199	11,866
売上債権の増減額（△は増加）	23,890	85,133
棚卸資産の増減額（△は増加）	19,119	△28,529
仕入債務の増減額（△は減少）	△23,602	△73,661
その他	△54,946	10,563
小計	201,121	167,742
利息及び配当金の受取額	783	1,158
利息の支払額	△21,466	△30,846
法人税等の支払額	△7,390	△7,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	173,047	130,654
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△165,979	△140,898
有形固定資産の売却による収入	9	2,075
無形固定資産の取得による支出	△26,867	△30,406
資産除去債務の履行による支出	△550	△1,500
敷金の差入による支出	△4,879	△2,166
その他	887	491
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,379	△172,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	―	△1,000,000
長期借入れによる収入	―	50,000
長期借入金の返済による支出	△53,463	△110,520
ファイナンスリース債務の返済による支出	△34,727	△49,227
割賦債務の返済による支出	△19,752	△19,752
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,942	△129,499
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△82,274	△171,247
現金及び現金同等物の期首残高	862,662	881,259
現金及び現金同等物の中間期末残高	780,387	710,012

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自2025年４月１日　至2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注１)	中間連結損益計算書計上額(注２)
	エンターテインメント事業	システム事業	不動産事業	計		
売上高						
施設利用収入	1,436,825	―	―	1,436,825	―	1,436,825
外販収入	125,738	1,758,603	―	1,884,342	―	1,884,342
賃料収入	―	―	―	―	―	―
顧客との契約から生じる収益	1,562,564	1,758,603	―	3,321,168	―	3,321,168
その他の収益	―	―	42,187	42,187	―	42,187
外部顧客への売上高	1,562,564	1,758,603	42,187	3,363,355	―	3,363,355
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	2,503	―	2,503	△2,503	―
計	1,562,564	1,761,106	42,187	3,365,858	△2,503	3,363,355
セグメント利益	143,300	116,139	26,539	285,979	△186,233	99,745
その他の項目						
減価償却費	100,778	4,739	7,167	112,685	2,162	114,847
のれんの償却額	―	―	―	―	―	―

(注) １．セグメント利益の調整額△186,233千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「エンターテインメント事業」セグメントにおいて、閉店が決まった店舗、及び、一部事業について減損損失を認識しております。これにより、当中間連結会計期間において減損損失47,250千円を計上しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自2026年４月１日　至2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注１)	中間連結損益計算書計上額(注２)
	エンターテインメント事業	システム事業	不動産事業	計		
売上高						
施設利用収入	1,412,078	―	―	1,412,078	―	1,412,078
外販収入	141,293	692,435	―	833,728	―	833,728
賃料収入	―	―	―	―	―	―
顧客との契約から生じる収益	1,553,372	692,435	―	2,245,807	―	2,245,807
その他の収益	―	―	42,104	42,104	―	42,104
外部顧客への売上高	1,553,372	692,435	42,104	2,287,912	―	2,287,912
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	1,428	―	1,428	△1,428	―
計	1,553,372	693,863	42,104	2,289,340	△1,428	2,287,912
セグメント利益	140,080	45,574	20,218	205,873	△173,741	32,131
その他の項目						
減価償却費	123,346	9,646	7,575	140,568	2,211	142,780
のれんの償却額	923	―	―	923	―	923

(注) １．セグメント利益の調整額△173,741千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「エンターテインメント事業」セグメントにおいて、閉店が決まった店舗について減損損失を認識しております。これにより、当中間連結会計期間において減損損失11,547千円を計上しております。